

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館付属

マドリッド日本人学校

文責 久保 俊博

平成28年5月2日 No. 2

「与えて、じっくり待つ…！」

海を越えたアメリカの大リーグでは、いよいよダルビッシュ選手が手術を乗り越え大舞台に立ちそうですが、今回は、その大リーグに関係したお話を一つ紹介させていただきます。

私たちは、子どもに対して「早く…しなさい。」という言葉をよく使います。社会的な要請もありますが、じっくり時間をかけて取り組ませることが、極端に少ないように感じる今日このごろですが、保護者の皆さまはいかがでしょう？

元横浜ベイスターズ監督の権藤博さんが、若い頃、大リーグにコーチ修行に行った際、あるコーチが、一人の新人選手に「右の方向に打てるようになったら呼びにきて」と言い残し、その選手をピッチングマシンに残して消えたそうです。見かねた権藤さんが、「こうやったらどうですか？」とその選手にコツを教えると、まもなくできるようになった。

難なく右方向に打つ新人選手を見たコーチが、権藤監督に次のようなことを言ったそうです。

「彼にコツを教えたのか？ 人から教わったことはすぐに忘れてしまうんだよ。今、なんとなくできるだけなんだ。調子が悪くなったら完全に行き詰まる。だけど、自分で試行錯誤してコツをつかめば、その技術はきっと彼のものになる。だから何も教えずに彼を一人残したんだよ。」と…。

指導者は、自分の持っている知識や技術を伝授すればそれで十分というのではなく、相手に大切なことを身につけさせるためには、適切な課題を与えてじっくり待つことも大切なのだ、と権藤監督は悟ったそうです。

深い理解・習得を促すためには、待つことや習い手の習熟度を見抜いた適切な課題を与えることが大切なことは、野球の指導に限ったことではありません。要領や近道だけを教えるのだけでなく、ときには苦勞をさせることも必要なのでしょう。

新年度が始まって1ヶ月が終わろうとしています。今年度は、この「与えて、じっくり待つ…」という言葉をかみしめていきたいと思っています。



5月の行事予定

1	日	メーデー
2	月	州設置記念日
3	火	委員会
4	水	給食
5	木	健康診断
6	金	歯科検診、部活動
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	給食
12	木	
13	金	部活動
14	土	
15	日	聖イシドロの日
16	月	
17	火	
18	水	給食
19	木	運動会予行
20	金	部活動
21	土	
22	日	大運動会
23	月	振替休業日
24	火	
25	水	給食
26	木	
27	金	宿泊学習説明会、部活動
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

5月の生活目標:

きれいな学校にしよう

給食が始まりました！

今年度、初めての給食が27日（水）にありました。メニューはカレーライスです。料理されている小林さんに伺うと、日本のルーを入れず、スパイスを中心にカレーを作ってくださっているそうです。どうりで美味しい…と思いました。子供たちも喜んで食べていました。



新入生歓迎会

4月21日(木)6時目、新入生歓迎会が体育館で行われました。これは代表委員会(委員長は〇〇〇〇くん)の主催です。まずは、新入学児童生徒や在校生の自己紹介、そして新派遣教員の紹介もありました。

今年は、レク係の〇〇〇〇くんが中心となって、「だるまさんがころんだ」と「氷おに」が行われました。特に低学年は、優しいお兄さんお姉さんの中に入って、楽しく身体を動かしていました。ほのぼのとした雰囲気、体育館全体に広がっていました。新しいメンバーでのいいスタートができたように思います。



授業参観&懇談会&アルメンドロの会

大変お忙しい中、4月26日(火)の授業参観に、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございます。当日、一部で日程変更をしなければならず、ご迷惑をおかけした保護者の皆様もいらっしやいました。申し訳ございません。

学級担任からいろいろな話が聞けたと思います。今後とも児童生徒たちのため、保護者の皆様と学校が連携を密にしていながら本校での教育を進めていきたいと思ひます。

また、アルメンドロの会では、新派遣教職員へ花束をいただきました。大変うれしく思ひます。今年度も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新しい内容...

右の欄をご覧ください。今年度から新しい内容が加わりました。それは、先生方の紹介もかねて、思いを語ってもらおうというものです。今回は平方先生ですが、19歳の時の海外旅行の経験が、その後の考えを大きくかえたことが分かります。このように、普段話せない内容も含めて交流していきたいと思ひます。お楽しみください。

避難訓練の実施

4月27日(水)6時目に、避難訓練が行われました。今回は、湯沸かし付近からの出火という設定で行われました。教頭先生の緊急放送で、児童生徒全員が、スムーズにグランドへ避難しました。

現在、何が起きてもおかしくない世の中ですが、できるだけいろいろな場面の訓練をしていきたいと思ひます。今回は、全員しっかりと行動していたと思ひます。



教師のつぶやき

「Dreams come true!」



平方 雅之
今から25、6年前、大学に合格してから始めたアルバイトでためた給料をほとんどつぎ込み、19歳の夏に、友人と二人でタイへ一週間旅行に行きました。往復の格安航空券とガイドブック「地球の歩き方」だけでタイへ乗り込み、1泊目は夜に到着してホテルがどこも取れず、大きな駅で野宿するという感じで始まった初の海外旅行でした。私はこの旅行がきっかけで、いつか海外で働きたいという夢を持ちました。ちなみに、そのとき一緒にいった友人は、大学卒業後タイへ行き、あちらで就職し、今なお、あちらで暮らしています。

大学では留学生と交流するサークルに入り、大学の学祭には、「留学生喫茶」という出店を出し、それぞれのお国自慢の料理を販売するなどの活動をしてしました。大学2年の時には、アメリカへ一か月ホームステイにも行きました。その後、社会人になってから、韓国、中国、シンガポール、オーストラリアへの旅行に行きました。

教員になって21年目、自分のかねてからの夢を実現したく、日本人学校の教員の試験を受け、3度目でようやく合格し、このたびマドリッド日本人学校で働くことになりました。

どうかマドリの生徒のみんなにも、いろいろな夢を抱き、努力・挑戦し、いつかそれをかなえてほしいと思ひています。日本の子どもにも、このことを訴えてきました。まだ夢がはっきりしていない人も何がきっかけで、夢が見つかるかわかりません。どうか、様々な経験をし、希望あふれる将来を切り開いていってほしいです。

